

東京2020パラリンピック競技大会

帯同報告

～ ボッチャ競技に帯同して～

曽根裕二

(大阪体育大学教育学部)

本日の流れ

① 東京2020パラリンピック競技

大会ボッチャ競技報告会

② 障がい者スポーツ指導者として

活躍していくために

パラリンピック等の国際大会対象のクラス

日本ボッチャ協会ホームページより

BC1	BC2	BC3	BC4
車いす操作不可で 四肢・体幹に 重度の麻痺がある 脳原性疾患のみのクラス。	上肢での車いす操作が ある程度可能で 脳原性疾患のみのクラス。	最も障がいの重いクラスで 自己投球ができないため 競技アシスタントによる サポートにてランプを 使用して投球する。	筋ジストロフィーなど、 BC1・BC2と同等の 重度四肢機能障がいのある 選手が行うクラス。
対 象：脳原性疾患 投 球：可(足蹴り可) 勾配具：× アシスタント：○	対 象：脳原性疾患 投 球：可 勾配具：× アシスタント：×	対 象：脳原性疾患 非脳原性疾患 投 球：不可 勾配具：○ アシスタント：○	対 象：非脳原性疾患 投 球：可 勾配具：× アシスタント：×
			

ボッチャの種目と結果

		日本選手	結果
個人戦	BC1	2名	金メダル
個人戦	BC2	2名	
個人戦	BC3	2名	
個人戦	BC4	1名	
団体戦	BC1-2 チーム	4名	銅メダル
団体戦	BC3 ペア	3名	銀メダル
団体戦	BC4 ペア	3名	8位入賞

研修会ではいくつか写真を紹介します

- 開閉会式の様子
- 選手村の様子
- 競技会場の様子
- 食事の様子
- 交流の様子
- その他

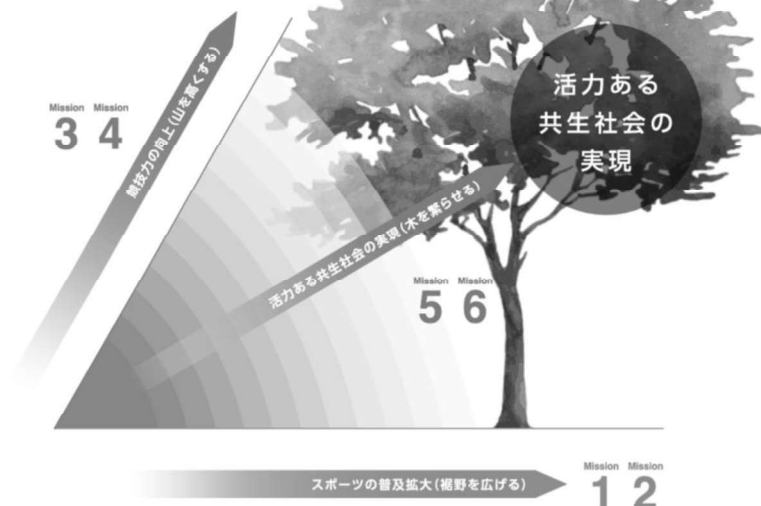
本日の流れ

- ①東京2020パラリンピック競技
大会ボッチャ競技報告会
- ②障がい者スポーツ指導者として
活躍していくために

日本パラスポーツ協会のビジョン

日本パラスポーツ協会ホームページより

活力ある共生社会を
実現するために



パラリンピックの目指す社会

Vision

Make for an inclusive world through Para sport.

ビジョン

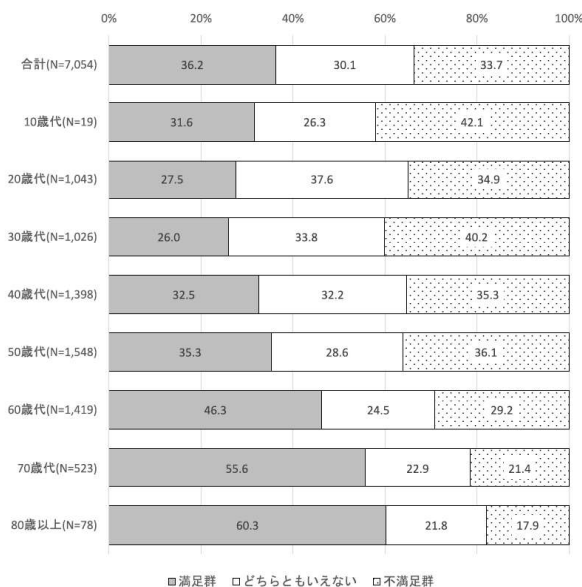
パラスポーツを通して共生社会を作る

国際パラリンピック委員会ホームページより

障がい者スポーツ指導員としての活動により体得できる知見

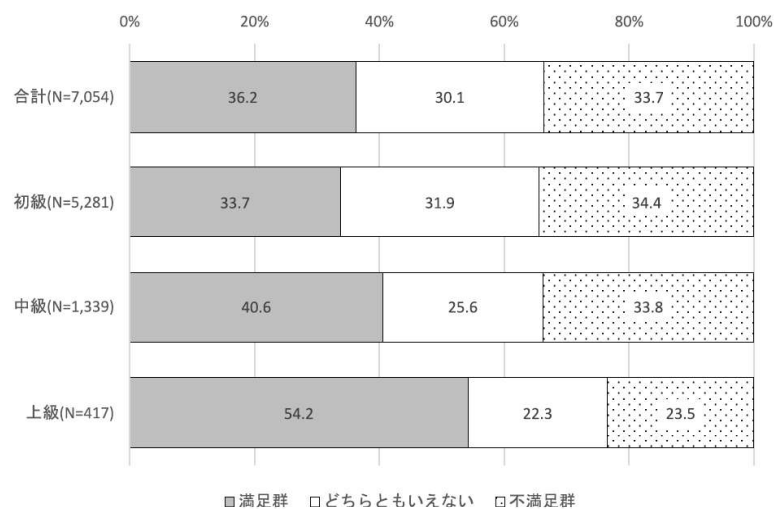
- スポーツの有用性およびスポーツの価値の多様性を再認識することができる
- 日常生活における運動およびスポーツ活動の重要性を再認識することができる
- 関連する多領域の現状や役割を知るとともに領域間における新たな関係づくりを創出することが期待できる
- ステレオタイプの指導法から脱却し、個々の特性や目的に応じた指導法の獲得が期待できる
- 障がい者自身が持つ強み（ストレングス）の発見や、新たな価値観の再構築および自己実現の形成に携わることができる

障がい者スポーツ指導員の現在の活動への満足度（年代別）



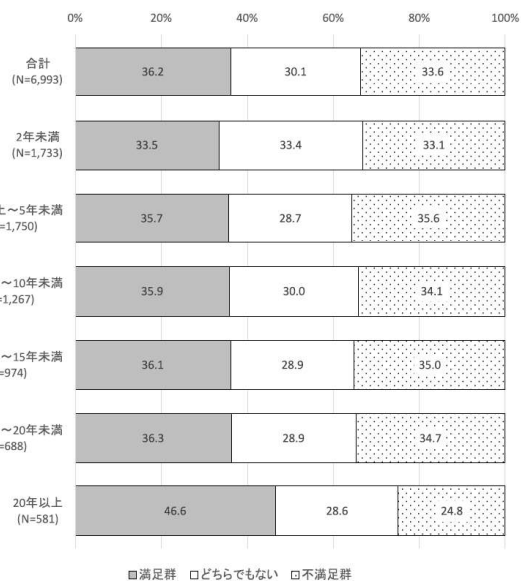
(公財)日本障がい者スポーツ協会(2019年)「平成30年度国庫補助事業『公認障がい者スポーツ指導員実態調査』報告書」より

障がい者スポーツ指導員の現在の活動への満足度（資格別）



(公財)日本障がい者スポーツ協会(2019年)「平成30年度国庫補助事業『公認障がい者スポーツ指導員実態調査』報告書」より

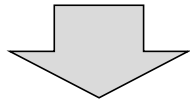
障がい者スポーツ指導員の現在の活動への満足度（取得経過年数別）



(公財)日本障がい者スポーツ協会(2019年)「平成30年度国庫補助事業『公認障がい者スポーツ指導員実態調査』報告書」より

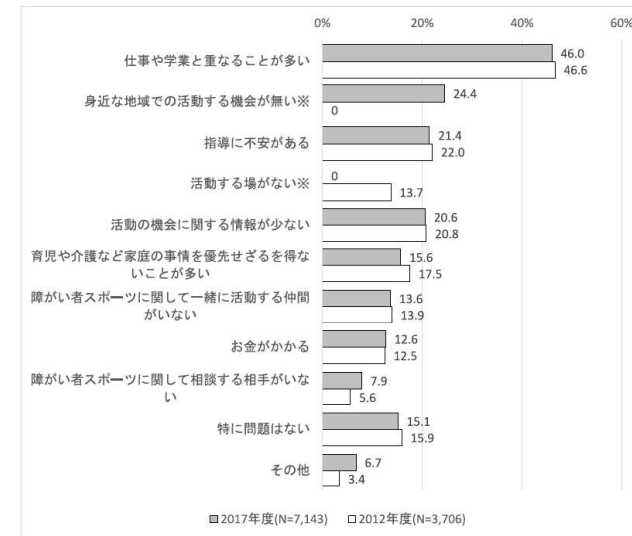
公認障がい者スポーツ指導員実態調査より

- 若年層の方が活動の満足度が低い。年齢が上がれば満足度が高くなる。
- 上位資格取得者の方が満足度が高い
- 資格取得後の経過年数が多い方が満足度が高い



障がいのある人のスポーツ活動に関われば関わるほど、満足できるようになるのではないか。

障がい者スポーツ指導員が抱える問題点（複数回答）

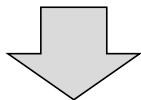


※2018年度調査では、「身近な地域での活動する機会が無い」「活動する場がない」の回答選択肢がなかった。

（公財）日本障がい者スポーツ協会（2019年）
「平成30年度国庫補助事業『公認障がい者スポーツ指導員実態調査』報告書」より

公認障がい者スポーツ指導員実態調査より 「指導員が抱える問題について」

- 仕事や学業と重なることが多い
- 身近な地域で活動する機会がない
- 指導に不安がある
- 活動する場がない
- 活動の機会に関する情報が少ない
- 育児や介護など家庭の事情を優先せざるを得ないなど

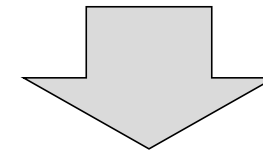


ご家庭やお仕事など、自分の生活を最優先してください。

グットマン博士は言いました

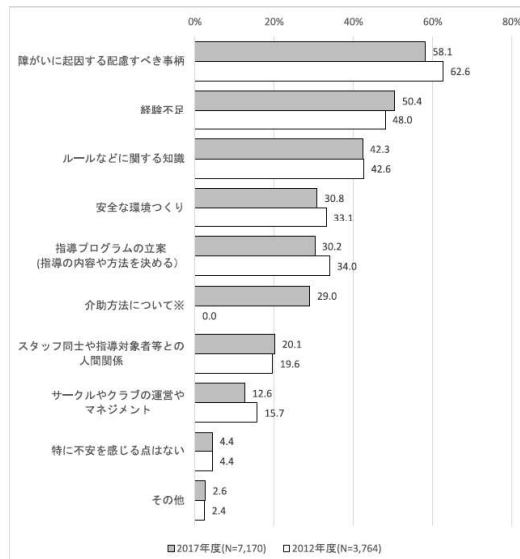
失われたものを数えるな、残っているものを最大限に活かせ

It's ability, not disability, that counts



パラスポーツは
「できない」ことではなく、
「できる」ことに着目すべき

障がい者スポーツ指導員の指導への不安内容（複数回答）

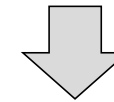


※2012年度調査では、「介助方法について」の回答選択肢がなかった。

(公財)日本障がい者スポーツ協会
(2019年)「平成30年度国庫補助事
業『公認障がい者スポーツ指導員実
態調査』報告書」より

公認障がい者スポーツ指導員実態調査より 「指導への不安内容について」

- 障がいに起因する配慮すべき事柄
- 経験不足
- ルールなどに関する知識
- 安全な環境づくり
- 指導プログラムの立案
- 介助方法について
- スタッフ同士や指導対象者等との人間関係など



指導に関する不安はたくさんあります。
不安はあるべきだと思います。

個人的な経験をお話しながら、
指導員として活躍するためのポ
イントを考えていけたらと思い
ます。